



冬季間の乳質管理について

乳房炎は、①乳頭口付近の起因菌による汚染、②起因菌の乳腺への侵入、③乳腺内での起因菌の増殖、これらのどこかを断ち切ることで予防できます。冬季間における一般的な生産環境から留意すべき乳房炎対策を示します。農場の状況に応じて優先順位を立て、乳質管理に努めましょう。

□ 換気

牛舎内の換気は乾物摂取量に影響します。一般的に冬季間は牛舎を閉め切ることが多く換気量を制限してしまいがちです。牛舎内に空気の淀みがないか、結露は発生していないかを確認し、必要によって対策を打ちましょう。冬季だからこそ換気を意識しましょう。

【主な対策】

- ① トンネル換気の場合はインバーターで回転数を調節するか、インバーターがない場合は運転する換気扇の数で調節します。新鮮な空気を牛舎内に取り入れないと換気はできません。入気側の窓や扉を開けて新鮮な空気を取り入れるようにしましょう。
- ② 自然換気の場合、昼間はできるかぎり窓を開放して新鮮な空気を取り入れましょう。常に少し窓を開けておき、暴風雪などが予想される場合には紙袋などを開口部に詰めておき、雪の侵入を防止している事例があります。
- ③ 結露による凍結で窓の開閉が困難になりがちです。防寒用ポリエチレンシートを窓の内側に垂らすことで、結露による水滴がシート外側に付着します。こうすることで、窓枠レールの凍結を防ぐことができ、窓の開閉が容易になります。

□ 敷料を多く投入

牛床に消石灰をはじめとする石灰資材を散布し、多めの敷料を投入しましょう。滑り止めになるばかりでなく、乳頭の汚れを防ぐことができます。また、敷料の断熱効果により、被毛を乾燥させ、牛体を暖めます。

□ 保湿効果の高いディッピング剤を使用する

冬季間は保湿効果の高いディッピング剤を使用することで乳頭の肌荒れを防ぐことができ、乳頭皮膚に付着した汚れが拭き取りやすくなります。黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌をはじめとする乳房炎の発生を抑えるだけでなく、生菌数の減少にもつながります。

□ 耐熱菌が高い場合は搾乳機器の洗浄温度・パッキン類の劣化を疑う

冬季間は設定よりも洗浄温度が低くなりがちです。洗浄液の排出時温度を確認し、低い場合はボイラーの設定温度を上げましょう。またパッキン類が劣化している場合は交換しましょう。

当センターHP→技術情報「乳牛・飼料作物ほか」もご参照ください。

